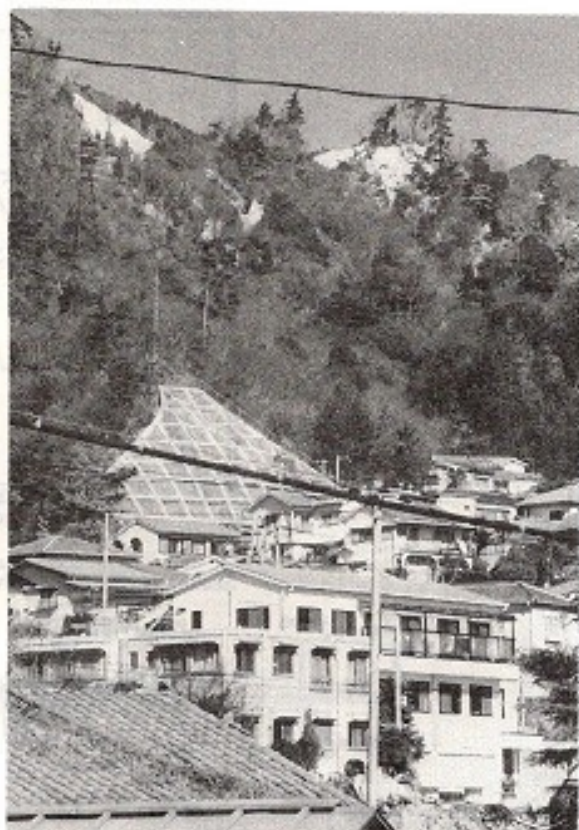




【写真19】津門川付近の阪神高速（西宮市津門住江町，1/21撮影）。被害の多くは小河川の近くで発生している。



【写真20】六甲山麓では崖崩れ災害に備えた避難勧告が出されている（東灘区住吉山手，1/29撮影）。



【写真21】交通渋滞や通行止区間が多く、自転車とバイクが有効な交通手段となっている（西宮市市庭町，1/21撮影）。



【写真22】学校建築の被害は一般に軽微であり、避難所として貴重な存在になっている（中央区北長狭通，1/28撮影）。

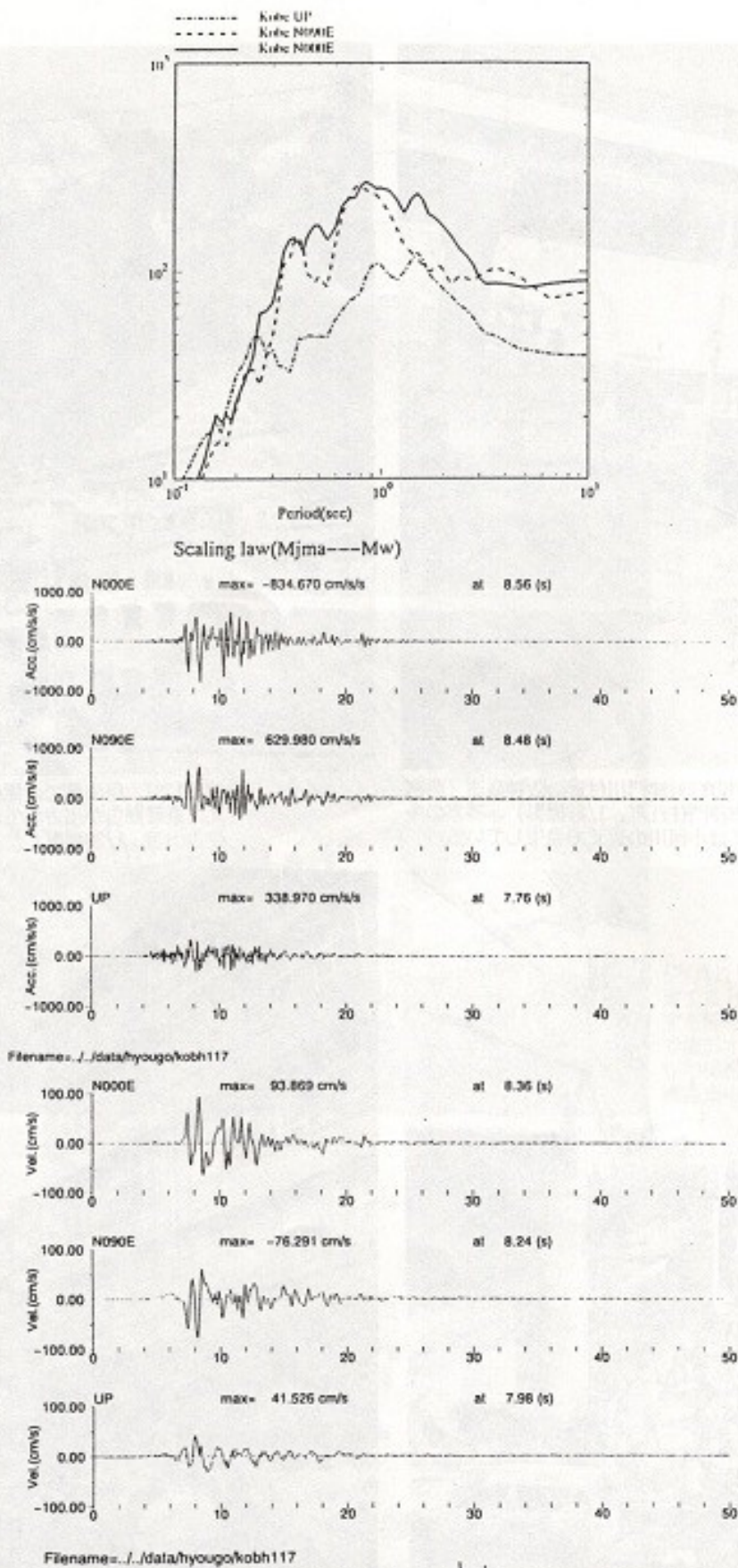


図2 神戸海洋気象台における兵庫県南部地震(1995.1.17.)の速度応答スペクトル(h=0.05)とその観測記録(中段:加速度波形, 下段:速度波形).  
 [デジタル記録は日本気象協会によっている.]

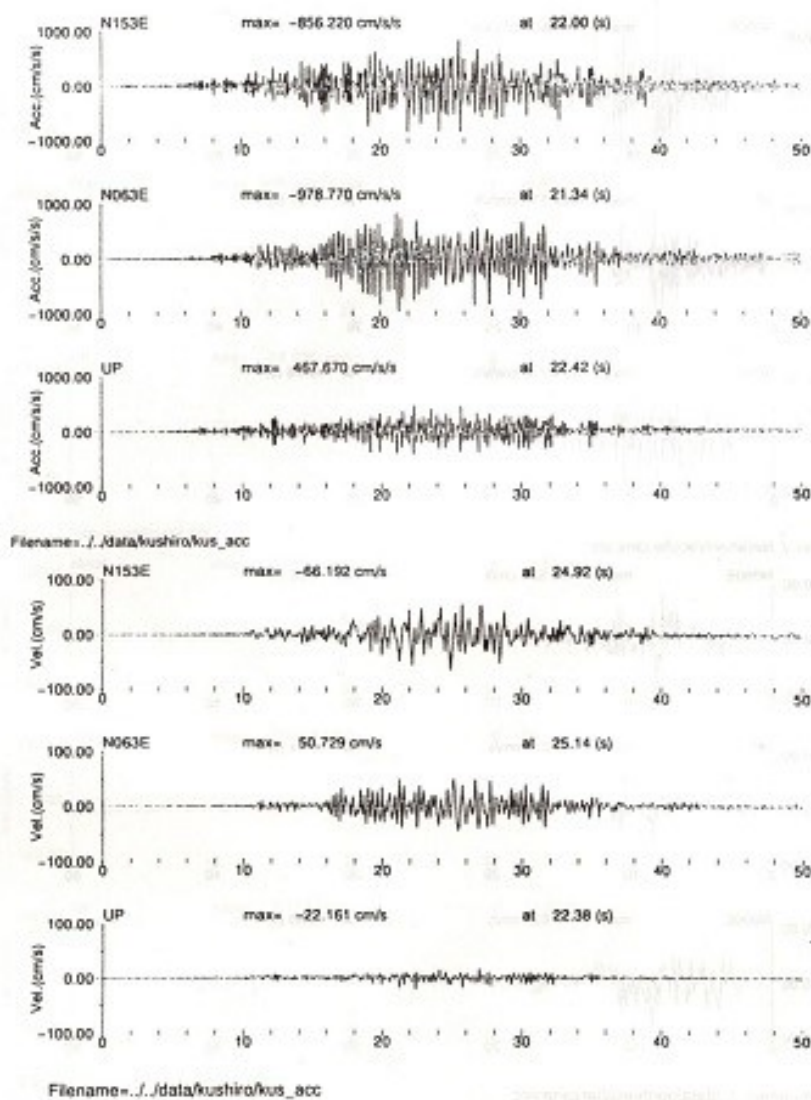
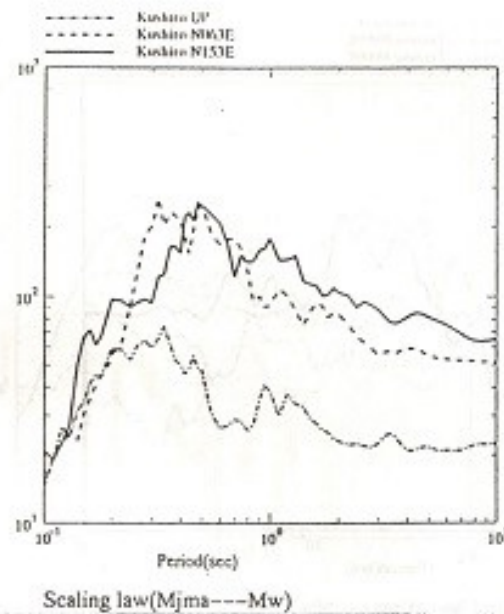


図3 釧路気象台における釧路沖地震(1993.1.15.)の速度応答スペクトル(h=0.05)とその観測記録(中段:加速度波形, 下段:速度波形).  
 [デジタル記録は日本気象協会によっている.]

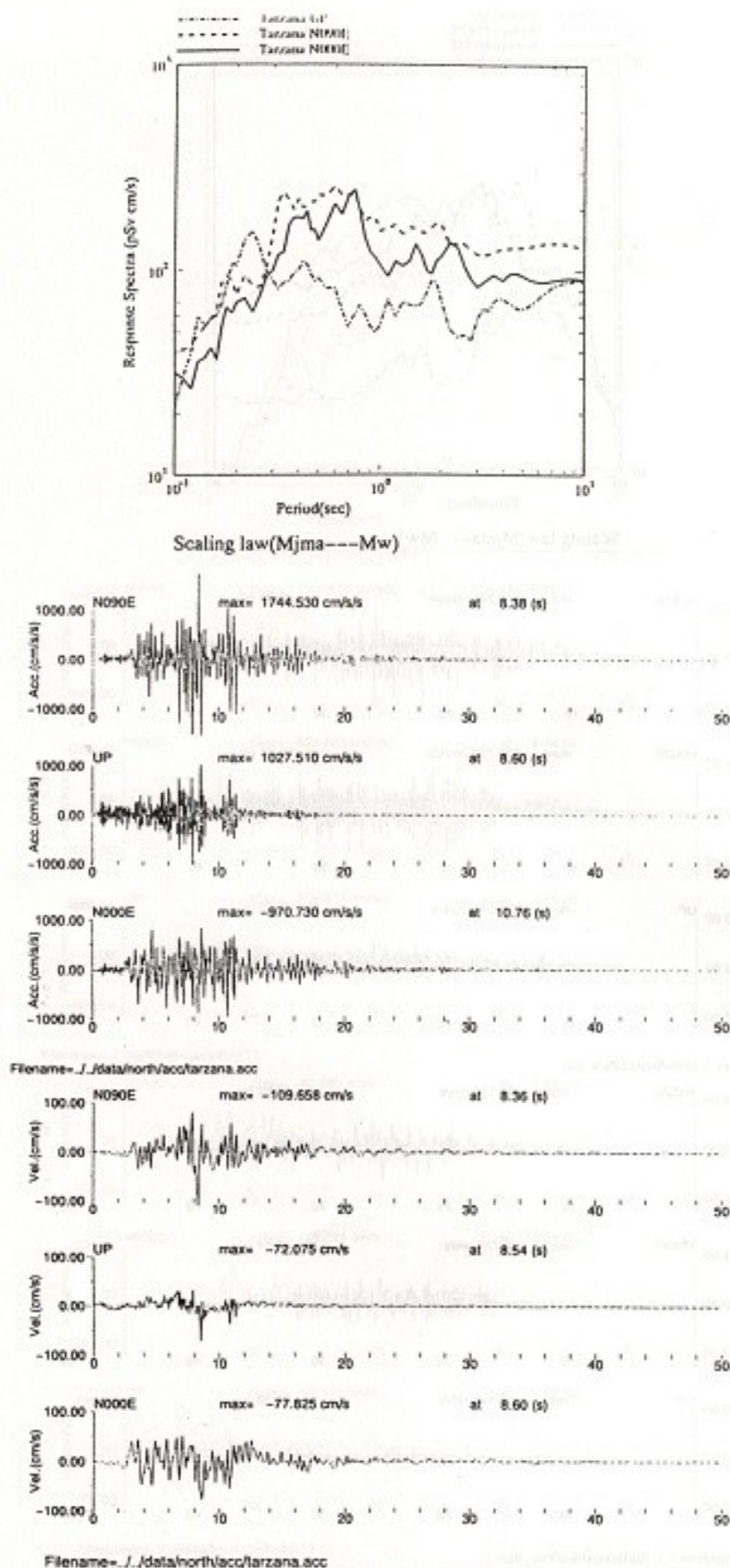


図4 タルサナ観測点におけるノースリッジ地震(1994.1.17.)の速度応答スペクトル ( $h=0.05$ )とその観測記録(中段:加速度波形, 下段:速度波形).  
 [デジタル記録は震災予防協会によっている.]

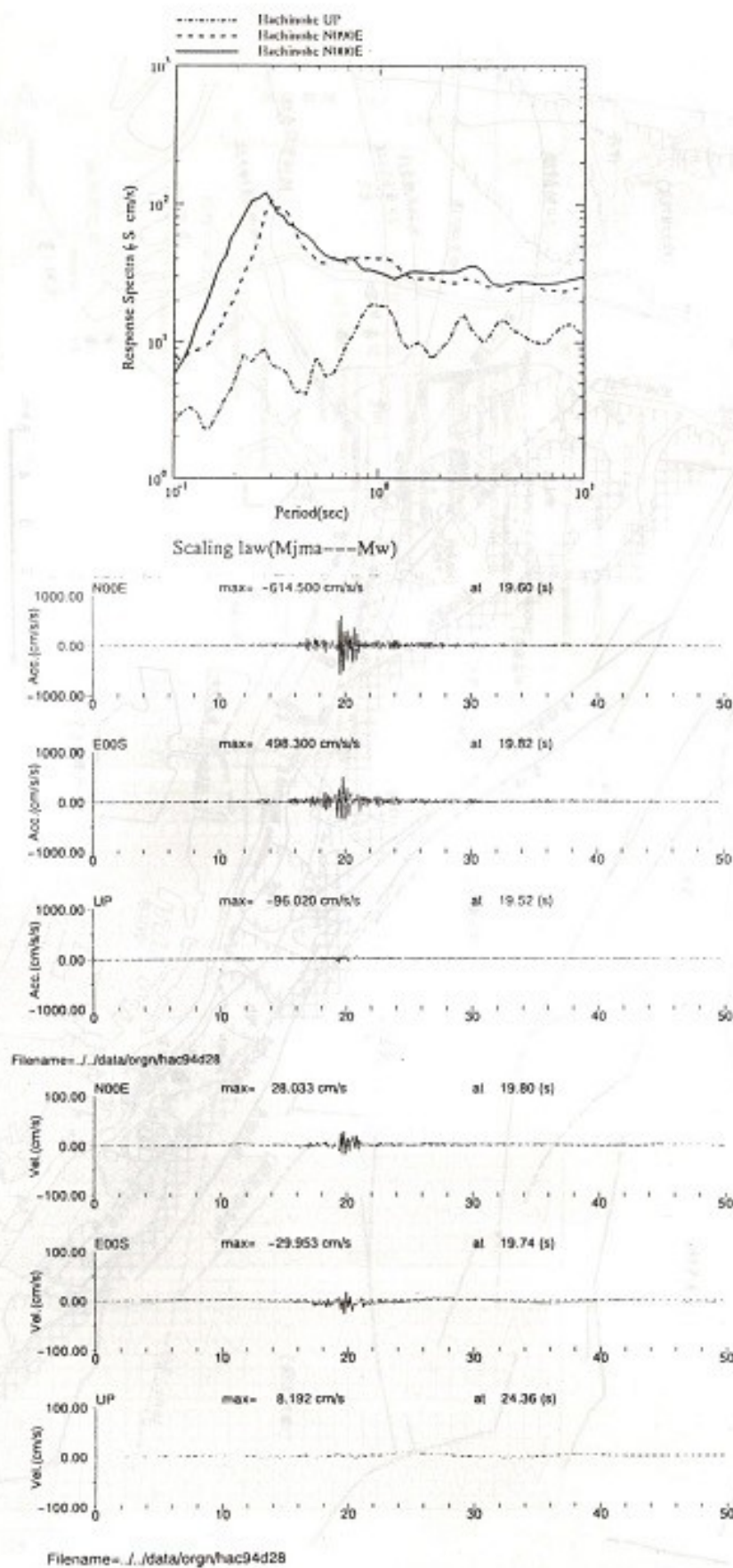


図5 八戸測候所における三陸はるか沖地震(1994.12.28.)の速度応答スペクトル ( $h=0.05$ )とその観測記録(中段:加速度波形, 下段:速度波形).  
 [デジタル記録は日本気象協会によっている.]

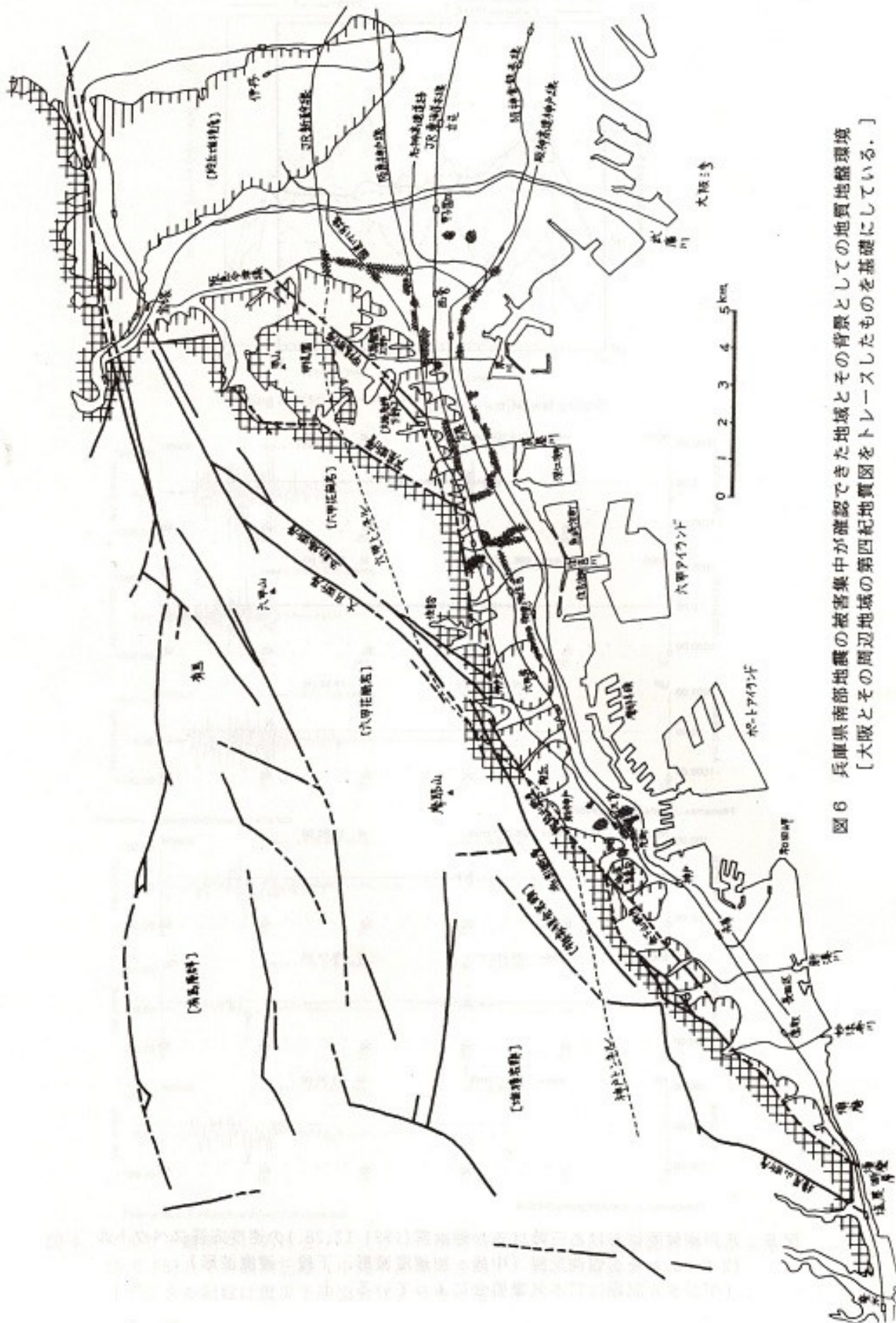


図6 兵庫県南部地震の被害集中が確認できた地域とその背景としての地質地盤環境  
 [大阪とその周辺地域の第四紀地質図をトレースしたものを基礎にしている.]

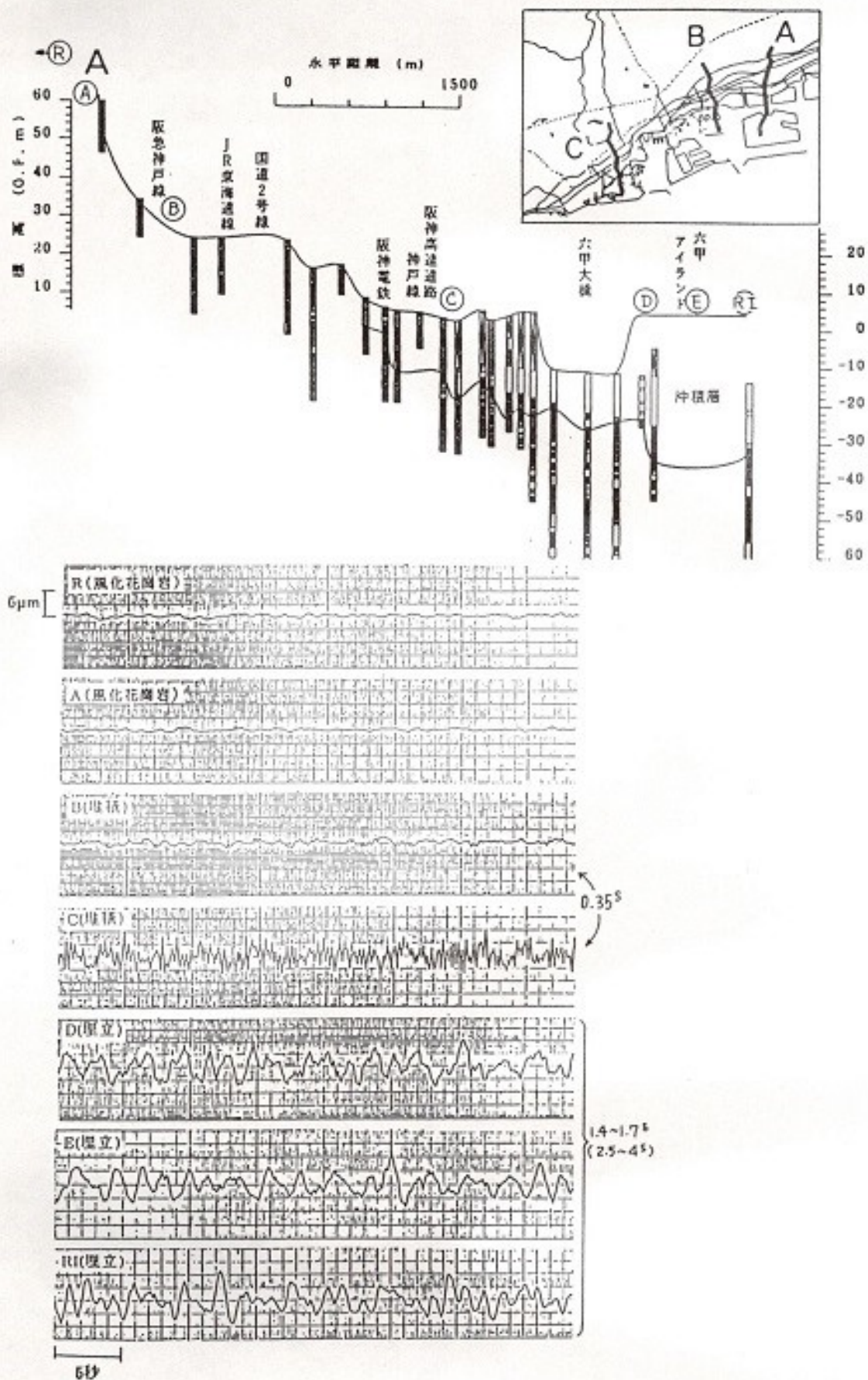


図7 神戸市東灘区付近の地盤条件と微動記録〔地盤条件は土質工学会関西支部による関西地盤(1992)に、微動記録は竹中工務店・村井信義氏の博士論文：埋立地盤の地震動特性に関する研究(1994)から引用させて頂いた。〕